

読売新聞 & 早稲田大学 企業連携ワークショップ 2025

新聞紙面に新たなコンテンツを加えるには ～ニュースを伝える意義を改めて考える～

テーマの概要

現代の社会は情報があふれています。とりわけインターネットとソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の急激な普及によって、情報を発信するメディアの形態が多様化し、事実とはほど遠い「フェイクニュース」や、著しく偏った言論が世界中で飛び交うようになりました。

こうした状況下で、社会をよりよくするための議論を重ねるには、前提として一人一人が様々な情報の中から正確で信頼できるニュースを見分け、内容を読み解く必要があります。その力こそが「ニュース・リテラシー」です。読売新聞社では、日々の報道を通じてニュースの発信に努めると共に、未来を担う子どもたちにニュース・リテラシーを身につけてもらう教育活動も行っています。読売新聞社は、「唯一無二の全国紙」として、地方の取材網を維持しています。地域社会の日々のニュースや、様々な課題について、全国紙の視点から情報発信を続けることによって、日本全体で共に考えていくことを目指しています。

今、メディア環境は大きな曲がり角を迎えています。誰もが情報を発信できる時代だからこそ、正確で信頼できるニュースを発信するメディアの責任は今まで以上に大きくなっています。本ワークショップでは、上記の視点を踏まえて、読売新聞が信頼されるメディアであり続けるためには、どのようなコンテンツが求められているかを、大学生の皆さんと考えていきます。最終的には、読売新聞の紙面に加えられるような新たなコンテンツのアイデアを考えて頂きたいと思います。

ニュースについて議論するには、ニュースがどのように生まれるのか、知ることも大切です。このため、読売新聞のベテラン記者に取材して、記事を書いていただき、添削などのフィードバックも行う予定です。特にマス・メディアや報道に興味がある人にはお勧めです。皆さんの応募をお待ちしています。

読売新聞社とは

読売新聞社は、世界最大部数の日刊紙を発行する、日本有数の報道・言論機関です。全国各地に取材網を張りめぐらし、海外にも多数の取材拠点を置いています。本ワークショップは、若い皆さんにジャーナリズムに関心を持ってもらおうと、2019年度から毎回テーマを変えて実施しており、今年度で7回目になります。

企業連携ワークショップとは

企業が提示した課題について、早稲田大学の学生たちが解決に向けた提言に取り組みます。本ワークショップでは、読売新聞記者の指導のもと、ニュース・リテラシーの考え方を学んだり、取材を体験したりしながら、具体的な提案をまとめ発表してもらいます。通常の就業体験インターンシップとは異なる実践型の社会連携教育プログラムです。

募集概要

募集期間	2025 年 9 月 2 日（火）～ 9 月 15 日（月・祝）23:59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に在学する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
活動期間	2025 年 10 月 14 日（火）～ 12 月 16 日（火）
応募条件	<u>全ての公式日程（次頁）への参加が可能なこと</u>
募集人数	15 名程度
応募方法	MyWASEDA にログインした状態で、 こちら から申請してください。 もしくは以下の手順で申請してください。 ① MyWASEDA にログイン ② お知らせ一覧から「企業連携ワークショップ 2025 秋冬編」を検索 ③ 「企業連携ワークショップ 2025 秋冬編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由 400 字程度、面接選考希望時間など）を入力して申請
説明動画	今回のワークショップについて動画で説明しています。 こちら をクリックしてください。（ゆっくり動画風 約 8 分 30 秒）
選考方法	① 書類選考：志望理由などをもとに選考します 書類選考通過者には、面接時刻を 9 月 26 日（金）までに Waseda メールにて通知します ② オンライン面接選考（個人または集団面接）： 9 月 29 日（月） 面接内容をもとに総合的に選考します 面接選考の結果は、 10 月 10 日（金）までに Waseda メールにて通知します
注意事項	① 当ワークショップは正規授業ではないため、成績評価・卒業単位の認定等はありません。 ② 当ワークショップは原則として、対面での活動となります。主な活動地は早稲田キャンパスや読売新聞東京本社（千代田区大手町 1－7－1）です。 ③ 【重要】公式日程以外にも、自主的にグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ※公式活動日は活動時間前後の時間も余裕をもって確保してください。 ④ オンラインで活動する場合があります。その場合、「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。 ⑤ 参加にかかる費用（対面で実施する際の交通費、食事代、オンラインでの活動に必要な端末の購入費、通信費等）は、参加者による自己負担です。 ⑥ 早稲田大学の学生補償制度（傷害補償・賠償責任補償）に加入します。 ⑦ ワークショップ実施日と重複する正規授業等を欠席した場合でも、 公欠扱いとはなりません。 ⑧ ワークショップでは連携先、大学がInstagram等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。あらかじめご了承ください。 ⑨ このプログラムは、グローバル・エデュケーション・センターの提供する全学副専攻「地域連携・地域貢献」および実践型教育プログラム「地域連携実践コース」(2025 年度末まで存続)の対象プログラムです。 ⑩ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	早稲田大学 GCC オフィス 企業連携ワークショップ事務局（ propro-yomiuri@list.waseda.jp ） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部・研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

ワークショップスケジュール（公式日程）

	日程		内容・会場
10月	第1回 オリエンテーション	10月14日(火) 17:30 ～ 20:30	オリエンテーション：ワークショップ参加にあたって、自己紹介・顔合わせ、レクチャー「大学生の皆さんに期待すること」、チーム交流会など 会場：早稲田大学
	第2回	10月21日(火) 17:30 ～ 20:00	読売新聞社見学、模擬取材体験、次回までの課題出し（記事原稿作成予定） 会場：読売新聞東京本社（大手町）
	第3回	10月28日(火) 17:30 ～ 20:00	作成原稿フィードバックおよび講義 会場：早稲田大学
11月	第4回	11月4日(火) 17:30 ～ 20:00	グループワーク 会場：早稲田大学
	第5回	11月11日(火) 17:30 ～ 20:00	グループワーク 会場：早稲田大学
	第6回	11月18日(火) 17:30 ～ 20:00	中間報告会 会場：早稲田大学
	第7回	11月25日(火) 17:30 ～ 20:00	グループワーク 会場：早稲田大学
12月	第8回	12月2日(火) 17:30 ～ 20:00	グループワーク 会場：早稲田大学
	第9回	12月9日(火) 17:30 ～ 20:00	最終報告会リハーサル、グループワーク 会場：早稲田大学
	第10回	12月16日(火) 17:30 ～ 20:30	最終報告会、振り返り会 会場：読売新聞東京本社（大手町）

※各回の終了時刻は目安です。時間を延長したり短縮したりする可能性があります。また終了後自主ワークを実施していただく可能性があります。

※各回の開催場所について、原則として記載の通り(早稲田キャンパスでの対面実施または読売新聞東京本社(大手町))を予定していますが、ワークショップの内容や進捗状況に応じて開催場所・形式が変更となる可能性があります。

※注意事項に記載の通り、上記公式日程以外にも、必要に応じて参加学生同士で相談し自主的に、集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます。（学生同士の話し合いに大学職員が参加することもあります）

※全てのワークショップ活動終了後、振り返りならびにワークショップに関するアンケートを回答いただきます。

※ワークショップの様子は読売新聞の媒体などに掲載されることがあります。